

イナビル吸入粉末剤 20mg

【この薬は？】

販売名	イナビル吸入粉末剤 20mg Inavir Dry Powder Inhaler
一般名	ラニナミビルオクタン酸エステル水和物 Laninamivir Octanoate Hydrate
含有量 (1 容器中)	ラニナミビルオクタン酸エステルとして 20mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、抗インフルエンザウイルス剤と呼ばれるグループに属する吸入薬です。
- ・ この薬は、A型およびB型インフルエンザウイルスの増殖を抑えることでインフルエンザの症状を緩和します。また、インフルエンザウイルス感染症の予防をします。
- ・ 次の目的で処方されます。

A型またはB型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防

- ・ この薬は、C型インフルエンザウイルス感染症には効果がありません。
- ・ この薬は、細菌感染症には効果がありません。
- ・ この薬を予防に用いる場合、インフルエンザウイルス感染症にかかっている患者さんの同居家族または共同生活者である次の人が対象となります。
 - ・ 高齢の人（65歳以上）
 - ・ 慢性呼吸器疾患または慢性心疾患のある人

- ・ 糖尿病などの代謝性疾患のある人
 - ・ 腎臓に障害がある人
- ・ この薬は、自己判断して使用しなかったり量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチンによる予防であり、この薬の予防使用はワクチンによる予防に置き換わるものではありません。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・ 過去にイナビル吸入粉末剤に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・ 過去に乳製品に対して過敏症のあった人
 - ・ 慢性呼吸器疾患（気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患等）のある人
 - ・ 基礎疾患（糖尿病を含む慢性代謝性疾患、慢性腎機能障害、慢性心疾患）のある人、あるいは免疫低下状態の人など
 - ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・ 授乳中の人
- 抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無または種類にかかわらず、インフルエンザウイルス感染症にかかっている時には、異常行動を発現した例が報告されています。異常行動による転落等の方が一の事故を防止するために以下の点について理解できるまで十分に説明を受けてください。
 - ・ インフルエンザウイルス感染症にかかっている時には、異常行動があらわれるおそれがあります。
 - ・ 自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者の方は転落等の事故に対する防止対策を行うよう、ご配慮ください。
 - ・ 転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動については、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現が多いこと、が知られています。

【この薬の使い方は？】

この薬は吸入薬です。決して飲まないでください。

●使用量および回数

- ・ この薬は、1個の容器あたり薬剤が2箇所にて充てんされています。
- ・ 通常、使用する量は、次のとおりです。

	10歳未満の小児	成人および10歳以上の小児 [※]
1回の使用量	1個の容器	2個の容器
使用回数	1日1回	
使用期間	1日間	

※予防で使用する場合のみ、1個の容器を1回分として、1日1回、2日間吸入

することも可能です（2日間で2個の容器）。

【治療に使用する場合】

- ・この薬はインフルエンザ様症状があらわれてから 48 時間以内に使用が開始されます。症状があらわれてから 48 時間以降に使用しても効果が期待できません。
- ・1回の使用で効果があります。

【予防に使用する場合】

- ・この薬はインフルエンザウイルス感染症の患者さんに接触後 48 時間以内に使用が開始されます。症状があらわれてから 48 時間以降に使用しても効果が期待できません。
- ・この薬を使用開始してから 10 日以降の予防効果は期待できません。

●どのように使用するか？

- ・口から吸入して使用します。詳しくは巻末の使用方法を参照してください。
- ・患者さんまたは保護者の方は、この薬を使う前に使用説明書を受け取り、使用方法について十分理解できるまで医師や薬剤師より説明を受けてください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を強く吸入したり、吸入後に長く息を止めすぎると失神（気を失う）やショック症状（息切れ、意識がうすれる、めまい、冷や汗、考えがまとまらない、血の気が引く、判断力の低下）がおこる可能性があります。この薬を吸入するときは使用説明書をよく読んで、くつろいだ状態（例えば座った状態）で吸入してください。なお、万一失神やショック症状のような症状があらわれた場合には、仰向けになって安静にしてただちに受診してください。
- ・この薬には夾雑物として乳蛋白を含む乳糖を使用しています。過去に乳製品に対して過敏症のあった人に使用した際に、アナフィラキシーがあらわれたとの報告がありますので注意してください。息苦しい、息切れ、しゃがれ声、眼と唇のまわりのはれ、じんましん、意識低下、ふらつきなどの症状があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。
- ・この薬を吸入した後に気管支攣縮（きかんしれんしゅく）（突然の息切れ、息をするときヒューヒューと音がする、息がぜいぜいする）がおこったり呼吸機能が低下したとの報告があります。慢性呼吸器疾患（気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患など）のある人は、これらの症状がおこったら医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用したことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
気管支攣縮 きかんしれんしゆく	息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
呼吸困難 こきゅうこんなん	息苦しい、息切れ
異常行動 いじょうこうどう	異常行動、普段と違うとっぴな行動をとる、急に走り出す、徘徊する
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス-ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス-ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
中毒性表皮壊死融解症(TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節や喉の痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
眼	目の充血やただれ
口や喉	喉のかゆみ、唇や口内のただれ
胸部	動悸、息苦しい、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ、息切れ
手・足	手足が冷たくなる、関節や喉の痛み
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ
その他	異常行動、普段と違うとっぴな行動をとる、急に走り出す、徘徊する

【この薬の形は？】



この薬は、1個の容器あたり薬剤が2箇所にてんされています。

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ラニナミビルオクタン酸エステル水和物
添加物	乳糖水和物 ^{注)}

注) 夾雑物として乳蛋白を含む。

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・この薬は防湿のためアルミ包装されております。吸入直前にアルミ包装を開封してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状や使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：第一三共株式会社 (<https://www.daiichisankyo.co.jp/>)

製品情報センター

電話：0120-693-132

受付時間：9:00～17:30（土、日、祝祭日、当社休日を除く）

[イナビル吸入粉末剤 20mg 吸入の使用説明]

吸入容器の構造、各部名称

吸入容器の構造(吸入時のイメージ)

薬剤トレー (スライド式) ※

粉状の薬 (イナビル)

空気孔

吸入口

吸入容器の持ち方

薬剤トレーのラベルをはがさず矢印方向にしっかりと端までスライドさせて、片方ずつ吸入します。

※：小さなお子さまの場合等は、薬剤トレーのスライドが難しいことがありますのでご協力をお願いいたします。

吸入時は、底にある空気孔をふさがないように持ってください。

使用方法



吸入方法については以下のサイトでご覧いただけます。

<https://www.influ-news.info/inhalation/usage.html>